

(5) 広島県の国際交流・協力事業(平成20(2008)年度)

(単位:千円)

事業名	関係局部	事業内容	予算額 (うち県費)
国際社会で活躍できる広島県づくり			
1 国際社会で活躍できる担い手づくり			
外国青年招致事業	総務局	JETプログラムを通じて外国青年を招致し、国際交流員として配置(米国、韓国 各1名)	14,876 (0)
国際関係機関派遣	総務局	独立行政法人日本貿易振興機構派遣 1名 独立行政法人国際協力機構派遣 1名	214 (214)
(財)ひろしま国際センター支援事業	総務局	(財)ひろしま国際センターの実施する地域国際化のための事業等に助成し、地域レベルの国際化を推進	69,634 (69,634)
(財)自治体国際化協会との連携	総務局	(財)自治体国際化協会への負担金拠出等	22,000 (0)
平和行政推進事業	総務局	渉外知事会等	800 (800)
学生交流事業	環境県民局	県立広島大学における学术交流協定による相互交流促進 ・四川大学 ・四川農業大学 ・タイ国キングモンクット工科大学トンプリ校生物資源工学部 ・ソウル市立大東校 ・西安交通大学 ・ミドルセックス大学 ・ハワイ大学ヒロ校 ・アンダラス大学 ・シェフィールド大学	1,000 (1,000)
外国青年語学指導者招致事業	教育委員会	英語教育の充実を図るため外国青年を招致し、外国語指導助手として県立学校に配置 高等学校におけるリスニング、スピーキングの指導充実 (ALT43人, NEST19校)	251,830 (231,411)
教育上特別の配慮を要する生徒への特別指導	教育委員会	帰国・外国人児童生徒の受入体制整備 ・留学生・帰国生徒等への日本語指導 29人(常勤) ・日本人学校派遣 24人(常勤) ・外国教育施設日本語指導教員派遣事業 2人(常勤) ・日本語指導学級 10人役(非常勤)	(定数措置)
警察職員の語学研修	警察本部	北京語研修(18名, 15回)	947 (947)
小 計			361,301 (304,006)
2 多文化共生の地域づくり推進			
多文化共生の地域づくり支援事業	総務局	多文化共生連絡協議会の開催, セミナー開催, 外国人総合相談窓口の運営, ホームページの充実等, 生活情報の多言語化	11,862 (11,862)
NPO・ボランティア活動インテンシブ事業	環境県民局	社会貢献活動に関心のある人を対象に, 活動のきっかけとなる場を提供する。	600 (600)
外国人学校への支援	環境県民局	学資負担が困難な生徒を対象とした授業料等軽減補助 学校運営事業における経常費補助	20,165 (20,165)
国際化に対応した道路標識整備事業	土木局	道路標識整備 (道路の案内標識にローマ字を併記)	54,500 (54,500)
「減らそう犯罪」推進事業	警察本部	安全・安心なまちづくりの推進 ・防犯行動が自然にとれる意識づくり ・互いに支え合う地域づくり ・犯罪の起こりにくい環境づくり	97,583 (76,333)
小 計			184,710 (163,460)
3 国際交流, 広域拠点機能の強化			
国際化推進広報活動	総務局	広島県紹介パンフレット(英語, 中国語, ハングル)作成(20年度は作成休止)	0 (0)
国際関係機関誘致支援事業	総務局	中国総領事館等の国際関係機関の誘致活動及び既存の国際関係機関の活動支援	0 (0)
空港振興事業	土木局	国際定期便の誘致維持・拡充 エアカーゴ・セールスの実施 国際便の利用促進 など	32,749 (32,749)
広島港ポートセールス	空港港湾部	国際定期航路網の拡充, 集荷活動の推進, 広島港背後圏の拡大を図るポートセールス活動	41,822 (41,822)
広島港荷捌施設整備費	土木局	広島港における外貨貨物取扱いのための埠頭用地の整備等	4,023,200 (4,023,200)
小 計			4,097,771 (4,097,771)
合 計			4,643,782 (4,565,237)

事業名	関係局部	事業内容	予算額 (うち県費)
広島県の魅力・特色の積極的発信やさらなる向上			
1 国際経済・技術交流の推進			
環境国際協力推進事業 (四川省環境保護合作事業)	環境県民局	四川省との合意書に基づく研修員の受入、技術協力員の派遣等	2,813 (2,813)
国際経済交流推進事業	商工労働局	(財)ひろしま産業振興機構国際部運営事業等	28,911 (28,911)
貿易振興事業	商工労働局	日本貿易振興機構広島貿易情報センターの運営助成	9,000 (9,000)
東アジア販路拡大事業	商工労働局	県内企業(食品・飲料関係)のバンコク・香港へのテスト輸出支援や現地商談会を通じた販路開拓支援	4,008 (4,008)
対広島投資促進事業	商工労働局	欧州を中心とした経済交流事業(企業訪問団派遣・商談会等)等を実施。	9,443 (8,838)
小 計			54,175 (53,570)
2 魅力ある観光・文化の振興			
PRツール作成	商工労働局	広島県の観光PR用パンフレット等を作成し、広島県の観光地をPRする。	8,000 (8,000)
視察・取材受入	商工労働局	欧米等に対する広島県の観光情報発信のための受入れ	11,854 (2,134)
国際観光展への出展	商工労働局	韓国国際観光展及び台北観光博覧会等に出展し、観光地「ひろしま」の魅力をPRする。	8,512 (1,905)
中国地方国際観光 ビジネスフォーラム開催	商工労働局	韓国・台湾・中国の旅行エージェンツ等を中国5県+愛媛県などで受入れ、商品化を促進する	28,000 (1,000)
韓国インバウンド商品開発	商工労働局	韓国インバウンドにおける、商品開発のための視察ツアー受入れ、(商品開発後、県の観光PR実施)	12,200 (1,200)
台湾インバウンド商品開発	商工労働局	台湾インバウンドにおける、商品開発のための視察ツアー受入れ、(商品開発後、県の観光PR実施)	21,000 (3,200)
中国インバウンド商品開発	商工労働局	中国インバウンドにおける、商品開発のための視察ツアー受入れ	10,000 (1,200)
香港インバウンド商品開発	商工労働局	香港インバウンドにおける、商品開発のための視察ツアー受入れ	10,200 (3,000)
教育旅行誘致推進	商工労働局	広島県への教育旅行の促進を図るため、関係者の視察受入れ・学校交流支援等を行う。	2,800 (1,400)
受入体制の充実等	商工労働局	「外国人観光客おもてなし推進セミナー」の開催などにより外国人観光客受入体制の充実を図る	11,384 (5,959)
小 計			121,150 (27,598)
3 国際交流ネットワークの充実			
在外県人会交流事業	総務局	在南米広島県人会(ブラジル・アルゼンチン・ペルー・パラグアイ)の活動を支援する。	1,470 (1,470)
四川省交流事業	総務局	四川省での国際会議参加、訪問団の受入派遣、広島県日中親善協会の支援等	3,884 (0)
ブラジル日本移住100周年事業	総務局	ブラジル日本移住100周年記念事業に参加するための知事訪問団、神楽団派遣等	39,442 (30,119)
韓国との交流促進事業	総務局	訪問団の受入・派遣、広島県日韓親善協会への支援	1,707 (0)
G8下院議長会議支援事業	総務局	会議への支援や地元の機運醸成を図るための事業を実施	5,000 (5,000)
国際交流ユース in HIROSHIMA	環境県民局	海外の青少年の受入れ等 (南米・北米)	9,100 (9,100)
小 計			55,603 (40,689)
合 計			230,928 (121,857)

事業名	関係局部	事業内容	予算額 (うち県費)
国際社会が直面する課題への対応			
1 ひろしまからの平和貢献の推進			
広島国際協力センター事業	総務局	国際人材の養成，県民の国際化支援 ・日本語高等研修，海外日本語教師養成研修他 ・日本語ボランティア養成研修，海外大学生日本語日本文化体験等 施設管理等 ・広島国際協力センターの管理運営	156,881 (155,011)
海外技術研修員・留学生 受入事業	総務局	開発途上国に対する技術協力の一環として研修員・留学生を受入 (4名，6ヶ月間)	17,213 (16,963)
平和貢献連携促進事業	総務局	(1) ひろしま平和貢献ネットワーク協議会の運営 (2) 平和貢献プロジェクトの実施 カンボジア教育支援プロジェクトの実施 NGO支援プロジェクト等の実施	3,100 (100)
	総務局	ひろしま版プラットフォーム構築推進事業 ・広島にあるNGO，経済界，財団，行政等が協働して平和貢献に取組む仕組みの「ひろしま版プラットフォーム」(仮称)を構築運営する。	9,947 (9,947)
国連訓練調査研究所(UNITAR) 広島事務所運営支援事業	総務局	平成15年7月に開設した，ユニタール広島事務所の活動を支援することにより，広島が有する世界的な知名度やノウハウを活用し，人材育成を通じた国際平和への貢献を推進する。	113,022 (113,022)
放射線被曝者医療国際協力 推進事業(HICARE)	健康福祉局	医師等の受入及び派遣 放射線被曝者医療普及啓発事業 調査検討・会議開催事業	11,975 (4,349)
国際協力(独立行政法人国際協力機構)(JICA)との連携	JICAが実施するグループ型研修の実施機関として積極的に協力(経費はJICA負担)		
	総務局	・カンボジア「地方行政」	
	環境県民局	・廃棄物管理総合技術 ・南西アジア地域「公害防止行政」 ・南東欧地域「地域産業振興政策」(県立広島大学)	
	農林水産局	・中国「林業研修」 ・中国「森林造成モデルカウンタート研修」	
	商工労働局	・持続可能な地域観光振興 ・アフリカ地域中小零細企業支援機関育成	
教育委員会	・アフリカ地域(仏語圏)「INSET運営管理」 ・ケニア・ザンビア・ナイジェリア「INSET運営管理」		
国際協力(国際協力銀行)(JBIC) との連携	農林水産局	中国四川省が行う国際協力銀行円借款事業に対し，技術研修等の支援協力。 ・中国「長江上流地区生態環境総合整備事業」	
教員海外派遣事業	教育委員会	青年海外協力隊派遣 3名	(定数措置)
小 計			312,138 (299,392)
2 国際社会と連携した課題への対応			
一般渉外事務	総務局	本県を訪問する外国人賓客に対する接遇	1,202 (41)
国際犯罪対策の推進	警察本部	国際犯罪組織の実態解明及び取締り強化 国際的な捜査協力の推進 不法滞在及び不法就労防止のための啓発活動の推進	0 (0)
小 計			1,202 (41)
合 計			313,340 (299,433)
総 計			5,188,050 (4,986,527)

(2) 県内市町の国際交流・協力事業 (平成20年度)

市 町	事 業 名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広 島 市	ハノーバー市長へ特別名誉市民称号の贈呈	ハノーバー市長シュテファン・ヴァイル氏に特別名誉市民称号を贈呈する。(平成20年5月26日)	242	企画総務局市長室秘書課
	G 8 下院議長会議・広島市長主催昼食会の開催	G 8 各国議長をお迎えし、市主催の昼食会を開催するとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和実現の意義を伝えるため、市長によるスピーチを行う。(平成20年9月2日)	375	企画総務局市長室秘書課 市民局国際平和推進部平和推進課
	G 8 下院議長会議・各国大使館員等の事前視察の受入れ	G 8 下院議長会議の開催に伴う、各国大使館、衆議院による準備のための市内等事前視察の受入れを行う。(平成20年7月～8月(予定))	611	企画総務局市長室秘書課
	G 8 下院議長会議出席者への記念品の贈呈	G 8 下院議長会議の出席者に広島らしい記念品を贈呈する。(平成20年9月1日～2日)	1,126	企画総務局市長室秘書課
	G 8 下院議長会議支援推進協議会への参画	G 8 下院議長会議の成功に向け、広島県、広島市、地元経済界及びG 8 関係の二国間友好協会で構成する支援推進協議会を設立し、地元の歓迎気運の醸成及び広島市のPRに関する事業を実施する。(平成20年4月～9月)	5,000	企画総務局市長室秘書課
	平成20年住宅・土地統計調査	指定された調査区の建物の構造、住宅の建て方、種類、建築時期等を調査。 総務省において、外国語の調査票対訳集が準備され、これにより対応する予定。 (平成20年9月下旬～10月中旬(調査期日:10月1日))	-	企画総務局企画部調整担当 (統計担当)及び各区区政振興課
	長期海外留学派遣研修	国際感覚の醸成や語学力の向上を図るため、CLAIR国際塾アメリカコースに職員を派遣(1人)する。 (平成20年8月22日～11月19日(90日間),ウァージニア州 他)	3,575	企画総務局人事部研修センター
	公民館学習会開催「国際理解・国際交流事業」	各公民館・その他の施設で「国際理解・国際交流事業」を実施する。(54施設62事業)	1,783	市民局生涯学習課 (財団法人広島市ひと・まちネットワークに委託)
	大邱広域市との交流推進事業 (芸術団の派遣)	本市と大邱広域市は、平成9年(1997年)の姉妹都市提携以来、文化、スポーツ、経済、学術などの幅広い分野において交流を行い、友好関係を築いてきた。 平成11年度からは平成19年度(姉妹都市提携10周年)を記念し、相互に派遣・受入れを実施)を除き、隔年で芸術団の派遣を行っている。平成20年度は「カラフル大邱フェスティバル」に本市から芸術団を派遣し、両市間交流の一層の促進を図る。(平成20年10月、派遣:12名)	1,297	市民局文化振興課
	ハノーバー市姉妹都市提携25周年記念事業(芸術団の派遣)	本市とハノーバー市は、昭和58年の姉妹都市提携以来、文化、スポーツ、経済、学術などの幅広い分野において交流を行い、友好関係を築いてきた。 姉妹都市提携25周年の節目を迎え、また、日本がパートナー国になる産業見本市「ハノーバーメッセ」が開催されるにあわせ、本市から芸術団を派遣し、記念行事に参加するなどにより、両市間交流の一層の促進を図る。 (平成20年4月18日～25日、派遣:10名)	9,431	市民局文化振興課
	ハノーバー市姉妹都市提携25周年記念事業(芸術団の受入れ)	本市とハノーバー市は昭和58年の姉妹都市提携以来、文化、スポーツ、経済、学術などの幅広い分野において交流を行い、友好関係を築いてきた。 姉妹都市提携25周年の節目を迎えるにあたり、ハノーバー市から芸術団を受け入れ、記念行事を開催するなどにより、両市間交流の一層の促進を図る。 (平成20年5月24日～28日 受入:5名)	1,614	市民局文化振興課
	モンテリオール市姉妹都市提携10周年記念事業(芸術団の派遣)	本市とモンテリオール市は、平成10年の姉妹都市提携以来、文化、スポーツ、経済、学術などの幅広い分野において交流を行い、友好関係を築いてきた。 姉妹都市提携10周年の節目を迎えるにあたり、本市から芸術団を派遣し、記念行事に参加するなどにより、両市間交流の一層の促進を図る。(平成20年10月) 派遣:32名(5級1名,4級1名,芸術団30名)	15,823	市民局文化振興課
	モンテリオール市姉妹都市提携10周年記念事業(芸術団の受入れ)	本市とモンテリオール市は平成10年の姉妹都市提携以来、文化、スポーツ、経済、学術などの幅広い分野において交流を行い、友好関係を築いてきた。 姉妹都市提携10周年の節目を迎えるにあたり、モンテリオール市から芸術団を受け入れ、記念行事を開催するなどにより、両市間交流の一層の促進を図る。 (平成20年7月,受入:70名)	3,262	市民局文化振興課

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広 島 市	ピースメッセンジャー都市国際協会への参加	2007年ピースメッセンジャー都市国際協会年会費 ピースメッセンジャー都市国際協会は、国際平和年の1986年に、国連事務総長から国際平和に貢献があったとしてピースメッセンジャーに認定された都市の集まりで、現在80都市が加盟し、総会決議文の各国政府及び国際機関への送付などを通じて世界平和の実現に向けた取り組みを行っている。	111	市民局国際平和推進部平和推進課
	広島平和記念資料館モンゴル語翻訳事業補助	平和記念資料館の音声ガイド原稿のモンゴル語翻訳及びモンゴル語リーフレットを作成する事業に、補助金を交付する。	150	市民局国際平和推進部平和推進課
	2020ビジョンキャンペーンの展開（海外での要請活動）	NPT再検討会議準備委員会をはじめとした海外での平和関係国際会議への出席や、各国の政府、都市、NGO等への訪問などを通じ、2020年までの核兵器廃絶を目指して平和市長会議が取り組む「2020ビジョンキャンペーン（核兵器廃絶のための緊急行動）」の世界的な展開を図る。 ピースメッセンジャー都市協会理事会への出席（韓国・水原等、平成20年4月、派遣：2名） NPT再検討会議準備委員会への出席（スイス・ジュネーブ、平成20年4月、派遣：3名） 2020ビジョンキャンペーン協会運営委員会等への出席（ベルギー・イーペル、平成20年11月、派遣：2名）	12,043	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センター(平和連帯推進課)へ委託)
	世界平和都市連帯の推進	核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、世界恒久平和の実現を図るため、平和市長会議加盟都市間の連帯を推進する。 内容： 広く世界の都市に平和市長会議への加盟を呼びかけること 国連・各国政府に対して核兵器廃絶、全面完全軍縮、飢餓・貧困の解消等に関する要請を行うこと 広島、長崎の平和宣言の加盟都市への送付 ニューズレターの発行 ホームページ、メーリングリストの運営 等 ・平和市長会議加盟都市数 129か国・地域2,226都市（平成20年5月12日現在） (広島・長崎両市の共同事業のため、両市で1/2ずつ負担し、3,350千円)	6,700	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センター(平和連帯推進課)へ委託)
	「広島・長崎講座」設置協力プログラム	被爆体験を学問的なレベルで若い世代に継承するため、国内外の大学に「広島・長崎講座」の開設を呼びかける。また、新たに講座を開講する大学に対し、学識者や被爆証言者等の派遣及び教材の提供を行う。 (広島・長崎両市の共同事業のため、両市で1/2ずつ負担し、249千円)	498	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センター(平和連帯推進課)へ委託)
	2020ビジョンキャンペーンの展開	平和市長会議を中心に、世界のNGOと連携して、2020年までの核兵器廃絶を実現するため、「核兵器廃絶のための緊急行動(2020ビジョン)」を展開する。 2020ビジョンPRパンフレットの作成 ニューヨーク連絡員の設置 等 (広島・長崎両市の共同事業のため、両市で1/2ずつ負担し、531千円)	1,061	市民局
	第7回平和市長会議総会の準備	平成21年度に開催予定の第7回平和市長会議総会の準備を行う。 (広島・長崎両市の共同事業のため、両市で1/2ずつ負担し、1,470千円)	2,941	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センター(平和連帯推進課)へ委託)
	第6回国際平和博物館会議の開催	平成20年10月に日本で開催される「第6回国際平和博物館会議」を立命館大学国際平和ミュージアムなどとの共催で、京都・広島で開催する。広島では、平和記念資料館を会場に講演やシンポジウムを行い、世界の平和および反戦に関する博物館が交流し、ネットワークを強化するとともに、当館への国際的な理解を深め、核兵器廃絶を願うヒロシマの心を広く世界に訴える機会といたします。(平成20年10月10日)	2,263	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センターへ委託) (広島平和記念資料館学芸担当)
	原爆展・平和学習用資料の充実（「サダコと折り鶴」関連）	平成14年度に主に小・中・高生を対象とした平和学習用貸出資料として「サダコと折り鶴」ポスターを作成し、平成15年度には、図書、ビデオ購入及びホームページ「キッズ平和ステーション」のCD-ROM作成を行い、「サダコと折り鶴」パッケージを作成した。今後、貸出セット数を増加し、平和学習をより効果的なものとし、平和意識の高揚を図る。	262	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センターへ委託)

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広島市	ヒロシマ・ナガサキ原爆展の開催	海外において被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての国際世論を醸成するため、長崎市と共同で「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催する。 (ブラジル、平成20年8月～9月、派遣：1名) (広島・長崎共同事業) 長崎市が3,307千円負担	6,614	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センターへ委託)
	北海道における原爆展の開催等	平成20年7月に北海道洞爺湖地域で行われる主要国首脳会議に合わせて、北海道において原爆展を開催し、同会議に出席する各国首脳等関係者等に被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての気運を高める。 (平成20年6月～7月) (広島・長崎共同事業) 長崎市が3,505千円負担	7,011	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センターへ委託)
	国外原爆写真展用資料の提供	原爆被害の実相を広く伝え、平和意識の高揚を図るため、原爆展の開催等を実施する世界各地の自治体、NGO、学校等へポスター及びビデオの提供を長崎市と共同で行う。 (広島・長崎共同事業) 長崎市が298千円負担	596	市民局国際平和推進部平和推進課 ((財)広島平和文化センターへ委託)
	広島国際会議場の管理運営(国際交流ラウンジ運営)	国際交流や国際協力に関する情報提供、図書資料等の閲覧や貸出し、情報提供機能の充実を図ることにより、利用者への利便性を高める。	3,916	市民局国際平和推進部国際交流課 ((財)広島平和文化センターに委託)
	国連訓練調査研究所(ユニタール)の研修プロジェクトに対する支援	ユニタールアジア太平洋広島事務所は、アジア・太平洋地域の開発途上国の外交官、行政官等に対する研修や訓練を行う国連機関であり、年間で5分野の研修プログラムを実施するほか、国際的に著名な講師によるラウンドテーブルを開催している。 これらのプログラムのうち、「アフガニスタン奨学プロジェクト」に対する財政支援を行うことにより、そのプログラム構成に本市の意向を反映させ、本市の取り組む国際平和・協力施策の効果を高めることを目的とする。	7,000	市民局国際平和推進部国際交流課
	ひろしま国際協力事業の推進	平成7年度に「つくりだす平和」の一環として創設された「ひろしま国際協力基金」の運用益を活用して、本市が持つ経験やノウハウを活かし、アジア等の諸地域の都市問題の解決に向けた都市レベルでの国際協力活動を行うことにより、世界の平和と発展に寄与することを目的とする。 研修員受入：6か月間。 受入人数1名(ブータン王国ティンブー市)、 環境保全研修(「自治体職員協力交流事業」による) 中古作業車両の寄贈事業：平成19年度研修員を受入れたタイ王国パトン市に対して1台を寄贈する。	4,341	市民局国際平和推進部国際交流課 (資機材の供与は(財)広島平和文化センターに委託)
	国際関係機関の誘致・支援(県調整)	平成11年度に広島県、広島商工会議所とともに「広島県国際機関誘致連絡会議」を設立し、中国・ブラジル総領事館ほか外国公館等の誘致活動を行なう。	0	市民局国際平和推進部国際交流課
	ハノーバー市姉妹都市提携25周年記念事業	本市とハノーバー市は、昭和58年(1983年)の姉妹都市提携以来、青少年交流、平和、経済、文化、スポーツなどの様々な分野での交流を行ってきた。 平成20年度、姉妹都市提携25周年を迎えるにあたり、ハノーバー市長から相互の訪問団派遣等の提案があった。これを受け、4月にハノーバー市で開催される姉妹都市提携25周年記念行事に参加するため代表団を派遣する。 また、5月に本市で開催される「ハノーバーの日」記念イベントにあわせ、ハノーバー市からハノーバー市長をはじめとする代表団が来広するため、これを受け入れ、両市交流の一層の促進を図る。 (受入：4月、派遣：5月、2名)	3,367	市民局国際平和推進部国際交流課
	モンリオール市姉妹都市提携10周年記念事業	本市とモンリオール市は、平成10年(1998年)の姉妹都市提携以来、平和、文化、スポーツ、経済など幅広い分野において交流を行い、友好関係を築いてきた。 平成20年度、姉妹都市提携10周年の節目を迎えるにあたり、両市民の相互理解を深めるため、代表団及び市民交流団によるモンリオール市訪問を実施する。また、モンリオール市から代表団を受入れ、本市において記念行事を実施することにより、両市の交流の一層の促進を図る。 (受入：7月、派遣：10月、4名)	5,266	市民局国際平和推進部国際交流課

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広島市	大邱広域市との交流推進事業	本市と大邱広域市は、「フラワーフェスティバル」と「カラフル大邱フェスティバル」に平成8年度(1996年度)から10年度(1998年度)までは毎年相互に、平成11年度(1999年度)からは隔年で代表団と芸術団を派遣してきた。平成20年度(2008年度)は本市から大邱広域市へ訪問する年であるため、「カラフル大邱フェスティバル」に代表団を派遣し、大邱広域市との人的交流を促進するとともに、両市間の相互理解、国際意識の醸成を目指す。(派遣:2名)	540	市民局国際平和推進部国際交流課
	語学指導等を行う外国青年招致事業	(財)自治体国際化協会及び総務省、外務省、文部科学省によって実施されている語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)によって外国青年を国際交流員として招致し、国際交流事務の円滑な遂行を図る。(受入:1年間,4名(内中国重慶市から1名)) 全経費は22,195千円	1,537	市民局国際平和推進部国際交流課
	「姉妹・友好都市の日」の開催及び「ヒロシマ・メッセ」の運営	平成13年に創設した「姉妹・友好都市の日」に市民参加型の交流行事を実施することにより、市民交流の一層の拡大と市民の国際意識の高揚を図るとともに、「ヒロシマ・メッセ」を募集し、「姉妹・友好都市の日」の催事に係る企画、立案、進行役などを行ってもらう。	2,507	市民局国際平和推進部国際交流課 (財)広島平和文化センターに委託)
	外国人市民施策懇談会の運営	外国人市民の市政参画を促進し、「外国人にも暮らしやすいまちづくり」「多文化共生社会づくり」を推進するため平成13年度に「広島市外国人市民施策懇談会」を設置し、毎年懇談会を開催している。(年2回開催,9月と3月に開催予定)	267	市民局人権啓発部人権啓発課(多文化共生担当)
	外国人向け生活情報提供事業	「外国人にも暮らしやすいまちづくり」を推進するため、日常生活に必要な情報をまとめ、多言語(6言語・日本語併記)に翻訳したガイドブックを作成・配付するとともに、ホームページへ掲載し情報提供することにより外国人市民の暮らしの利便性を向上させるとともに、多文化共生意識の高揚を図る。	86	市民局人権啓発部人権啓発課(多文化共生担当)
	放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)	広島が蓄積している原爆被曝者治療の実績、放射線障害に関する調査研究の成果を世界各地で発生している放射線被曝による被災者の医療に有効に活かすことにより世界貢献と国際協力の推進に資することを目的として、本市、広島県並びに関係機関がHICAREを発足し、研修医師等の受入・派遣事業など各種事業を実施する。また、在外被曝者支援事業の一環としても、HICAREの研修医師等の受入・派遣を実施する。(受入:51名,派遣:6名) 医師等派遣: ブラジル,6/17~6/25 カザフスタン,8/8~8/16 韓国2月(予定)	11,975	健康福祉局原爆被害対策部調査課
	在外被曝者支援事業(受入医師研修事業)	韓国原爆養護ホーム職員等の受入研修を実施する。(受入:5人,11月(4泊5日))	1,059	健康福祉局原爆被害対策部調査課
	重慶市との環境保全交流事業	広島市と重慶市は、友好都市交流の一環として、平成2年度に環境保全交流を開始して以来、さまざまな人的交流を行ってきた。平成10年度以降、隔年で重慶市から2名の研修員を本市に受け入れており、今年度は、研修員を受け入れる予定である。(受入人員:2名,11月中旬~12月)	1,652	環境局環境政策課
	日独米気候政策自治体パートナーシップのワークショップへの参加	日本・ドイツ・アメリカ3カ国の自治体の参加を得て、各自治体の気候政策に関する調査・分析を実施し、様々な条件に応じた的確な戦略づくりを行い、指針の作成・普及を図る (派遣:2名,ハノーバー市(ドイツ),6/18~6/24(6泊7日))	1,636	環境局エネルギー・温暖化対策部企画課
	自動車関連産業支援事業の推進	2008日系自動車部品調達販売展示会 at 広州モーターショウ(ジェトロ主催)に広島バピリオンを設け出展する、地元自動車部品関連企業の販路開拓を支援する。 (広州市(中国),平成20年11月)	1,031	経済局地域産業支援課
モンテリオール市への経済ミッションの派遣	市内企業関係者及び広島市職員等で構成する経済ミッションを姉妹都市提携10周年を迎えるモンテリオール市に派遣し、商談会や企業訪問を通じてビジネスマッチングを図ることにより、両市の経済交流を一層促進する。 (10/22~27(4泊6日))	1,878	経済局産業振興部産業立地推進課	

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広島市	インバウンド推進事業	19年同様、広島市と姉妹提携している大邱広域市で開催される国際観光博覧会（ツアーエクスポ大邱2008）に出展するなど、引き続き、韓国を中心としたインバウンド事業を実施。また、今年が日仏友好150周年の記念すべき年であり、日本とフランスの間で日仏交流年が設定され、国を挙げてフランスとの交流が実施されることから、中国運輸局と共同でフランスからインバウンドの推進を図る。 (1) ツアーエクスポ大邱2008への出展等 （平成20年4月開催） (2) 台湾・韓国の旅行者等を中心に継続的な情報収集、連携強化を働きかける。 (3) フランスからのインバウンドの推進(中国運輸局と共同実施予定) ツアーエクスポ大邱2008は4月2日～7日(5泊6日) (実行委員会(広島市、呉市、広島観光コンベンションビューロー、広島商工会議所、広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会等)で実施、総事業費は1,450千円)	600	都市活性化局観光交流部観光課
	VJC地方連携事業	官民あがての国際観光振興策VJCが推進されており、本市もこれに参画し、中国、韓国、台湾等をターゲットとした旅行商品化事業等に取り組む。 ソウル特別市（平成20年7月4日～7月10日） 台湾台北市・高雄市 （平成20年11月17日～11月24日(予定)）	26	都市活性化局観光交流部観光課
	JICA集団研修員の受入れ	JICA集団研修員を受入れ、本市において研修を実施する。（平成20年6月23日、平成20年10月）	12	都市整備局区画整理課
	JICA集団研修「住宅・住環境改善コース」の受入れ	段原再開発部において、本市の都市計画及び段原再開発事業の説明を行う。 霞住宅屋上から事業区域を視察する。 市営基町住宅を見学する。	26	都市整備局住宅部住宅政策課・都市計画課 都市活性化局段原再開発部計画課
	自転車海外譲与事業（自転車等駐車対策費）	「広島市自転車等の放置の防止に関する条例」に基づき撤去した自転車で、保管期間が満了し、本市が所有権を取得したものについて、利用可能なものは市内部等で利用したりしているが、大部分の自転車は不用物品として廃棄処分している。このため、資源の再利用を積極的に図り、また国際協力に寄与するため、平成8年度から再生自転車海外譲与自治体連絡会に加入し、再生自転車を開発途上国に継続的に譲与している。	2,087	道路交通局道路管理課
	区の魅力づくり事業<土と緑のふれあいの郷づくり事業>ボランティアによる海外援助米生産事業	安佐南区戸山地区において一般市民による海外援助米の生産奉仕活動の場を提供し、地域と都市住民との交流・協働を進め、地域の活性化につなげていくとともに、「地産地消」や「食と農」について学べる仕組みづくりや国際社会への貢献など、市民の自主性、自発的な活動を助長する。 主 体：広島市、JA広島市、地域生産者組織、町内会、ライオンズクラブ 参加者：一般公募のボランティア186人 輸出先：民間援助団体「マザーランド・アカデミー」（東京都品川区）を通じてアフリカのマリ共和国へ 5/25:田植え、7/5:草取り、10/18:稲刈り・収穫祭、12月:援助米発送	700	市民局市民活動推進課 安佐南区役所市民部区政振興課、同農林建設部農林課
	広島平和研究所管理・運営（連携交流事業）	連携交流事業(他の研究機関等との連携関係の構築、研究成果の発信、広島平和研究所長の出張)	270	市立大学平和研究所
	広島平和研究所研究費（プロジェクト研究ワークショップの開催）	当研究所研究員がコーディネーターとなり、プロジェクト研究テーマに関わる平和研究学者等を世界各国から招聘し、本市または海外でワークショップを開催する。	11,290	市立大学平和研究所
	広島平和研究所研究費（シンポジウム等の開催）	研究テーマに関わる問題について国際シンポジウムを開催し、当研究所の研究成果を市民等に公開する。 (8月2日)	5,330	市立大学平和研究所
	国際交流事業	(1) 海外の学術交流協定大学等との間で教員交流・学生交流等の学術交流を実施する。 西南大学(重慶市) ハノーバー専科大学(ハノーバー市) ハワイ大学マノア校(ホノルル市) モハメド5世大学(EDYY・ワト市) オルレアン大学(フランス・トゥルーズ市) ジュニス・アル・マナール大学(チュニジア・チュニス市) 西京大学校(韓国・ソウル市) アラヌス大学(ドイツ・ボン近郊) ベルリン・バイセンゼー芸術大学(ドイツ・ベルリン市) (2) 夏期集中講座の開催：7月28日～8月7日	766	市立大学事務局

市 町	事 業 名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広 島 市	2008大邱国際大学生フェスティバルへの参加	「大邱国際大学生フェスティバル」は、大邱広域市が2003年から実施している事業であり、大邱市と海外交流都市の大学生間の親善を深め、海外の若者に大邱市を知ってもらい、大邱市と海外都市間の教育分野の交流・協力を推進することを目的としている。(平成20年8月)	0	
	JICA集団研修員の受入れ	JICA集団研修員を受入れ、本市において研修を実施する。(平成20年9月18日～9月19日、人員10名)	-	消防局総務課
	平成20年度JICA中東地域「上水道維持管理」コース	JICAの行う中東地域「上水道維持管理」コース(中東諸国の上水道事業部門で設計・維持管理に携わる技術者を対象に日本の大規模都市で実施されている上水道施設の維持・管理の現状及びその一実施にあたっての技術を理解し、問題発生時の的確な判断力と対処方法を取得し、自国の問題点・課題の改善を目的とする研修)を受託・実施することにより、国際協力に寄与する。 (受入：5名、平成20年7月22日～8月22日)	2,819	水道局企画総務課
	重慶市第三人民医院との医学交流事業	平成元年度から重慶市第三人民医院との間で病院関係者の相互派遣を実施している。平成20年度は重慶市第三人民医院から医師等を受入れ、医学に関する情報交換を行う。(受入：3名)	1,861	病院事業局経営管理課 広島市立安佐市民病院事務室
	海外地方自治行政視察	海外各都市の行政事情その他必要な事項の視察調査を行い、市政課題の解決に資するとともに、海外各都市との友好親善関係を促進することにより、市政発展に寄与する。(派遣：39名)	31,200	市議会事務局総務課
	ハノーバー市姉妹都市提携25周年記念事業	本市とハノーバー市は、昭和58年(1983年)の姉妹都市提携以来、青少年交流、平和、経済、文化、スポーツなどの様々な分野での交流を行ってきた。 平成20年度、姉妹都市提携25周年を迎えるにあたり、ハノーバー市長から相互の訪問団派遣等の提案があった。これを受け、4月にハノーバー市で開催される姉妹都市提携25周年記念行事に参加するため代表団を派遣する。 また、5月に本市で開催される「ハノーバーの日」記念イベントにあわせ、ハノーバー市からハノーバー市長をはじめとする代表団が来広するため、これを受け入れ、両市交流の一層の促進を図る。 (受入：5月、派遣：4月、3名)	3,909	市議会事務局総務課
	モンテリオール市姉妹都市提携10周年記念事業	本市とモンテリオール市は、平成10年(1998年)の姉妹都市提携以来、平和、文化、スポーツ、経済など幅広い分野において交流を行い、友好関係を築いてきた。 平成20年度、姉妹都市提携10周年の節目を迎えるにあたり、両市民の相互理解を深めるため、代表団及び市民交流団によるモンテリオール市訪問を実施する。また、モンテリオール市から代表団を受入れ、本市において記念行事を実施することにより、両市の交流の一層の促進を図る。 (受入：7月、派遣：10月、3名)	3,802	市議会事務局総務課
	大邱広域市との交流推進事業	本市と大邱広域市は、「フラワーフェスティバル」と「カラフル大邱フェスティバル」に平成8年度(1996年度)から10年度(1998年度)までは毎年相互に、平成11年度(1999年度)からは隔年で代表団と芸術団を派遣してきた。 平成20年度(2008年度)は本市から大邱広域市へ訪問する年であるため、「カラフル大邱フェスティバル」に代表団を派遣し、大邱広域市との人的交流を促進するとともに、両市間の相互理解、国際意識の醸成を目指す。 (派遣：10月、3名)	783	市議会事務局総務課
姉妹・友好都市等青少年国際交流事業(ASIAD開催都市ユースキャンプ)	アジア競技大会で培われた友好関係や交流をさらに発展させ、開催都市間で未来を担う青少年の友情と協力を深めることを目的として開催。本年度は広島市で開催する。 (開催地・時期) 第1回：タイ・バンコク市、平成11年12月 第2回：中国・北京市、平成12年8月 第3回：広島市、平成14年8月 第4回：韓国・釜山市、平成16年8月 第5回：タイ・バンコク市、平成17年12月 第6回：中国・北京市、平成18年8月 平成20年8月4日～8月11日(7泊9日)	5,994	教育委員会育成課	

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広島市	姉妹・友好都市等青少年国際交流事業（広島市・大邱広域市青少年交流事業）	平成14年度、2002年「日韓国民交流年」の趣旨を踏まえ、日韓の友好関係や交流をさらに発展させ、未来を担う青少年の相互理解と友情を深めるため、青少年代表団を派遣した。その後、日韓の親善をさらに深めるため、交互に青少年を派遣し、交流を行っている。 (主催：広島市・大邱広域市青少年交流事業実行委員会) 渡航費用：参加者負担(大邱市滞在費用は大邱市負担)	0	教育委員会育成課
	青少年国際平和未来会議のヨーロッパ開催	ヨーロッパ(参加：7カ国11都市)で青少年国際平和未来会議を開催し、これまで本市で2回開催した「青少年国際平和未来会議ヒロシマ」の参加者である「平和未来広島大使」と協働して、2020ビジョン実現に向けた平和推進活動を行い、ヒロシマの心をヨーロッパで発信する。 (主催：青少年国際平和未来会議実行委員会) 訪問団派遣場所は6カ国8都市 (派遣：職員1名、指導者3名、青少年20名、平成20年8月4日～27日(23泊24日))	7,872	教育委員会育成課
	国際青年会館主催事業	「国際青年ボランティア」を募集し、青年の国際相互理解と国際友好親善を深めるとともに、ボランティアとしての自主性を養い、もって資質の向上を図るため、ボランティア研修事業を実施するほか、その成果を生かす交流会等の活動の機会を提供・支援する。 登録ボランティア研修事業 登録ボランティア活動支援事業	947	教育委員会育成課 (財団法人広島市文化財団に委託)
	英語指導助手配置	平成15年3月策定の「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」等において、国際化の進展に対応し、外国語による日常的な会話や簡単な情報の授受などの基礎的、実践的コミュニケーション能力の育成に重点を置いた英語指導助手とのチームティーチングの充実が必要であり、JETプログラムにより青年を招致するとともに、一部、民間委託を行う。 (受入：19名+委託5名、平成20年8月～(1年間)) 予算内訳：指導第二課 32,989千円、総務課 81,849千円、教職員課 15,753千円	130,591	教育委員会指導第二課 総務課 教職員課
	教員海外派遣研修	英語教員が備えるべき、英語による理解力、表現力、さらに、実践的・効果的な指導力の向上のため、現地の大学における研修や家庭滞在を通して能力向上を図り、もって本市の英語教育の充実に資する。 教職員派遣研修：米国、英国、オーストラリア 平成20年7月中旬～9月中旬(2ヶ月) 英語担当教員派遣研修：米国、英国、カナダ 平成20年7月下旬～8月下旬(1ヶ月) 市立中・高等学校英語担当教員 で各1名派遣 は半額個人負担	1,300	教育委員会指導第二課
	帰国・外国人児童生徒教育支援事業	市立学校の在籍する帰国・外国人児童生徒に対して、日本語指導協力を派遣し、日本語指導を主とした基礎的な学力補充を行うと共に、教育相談員を設置し、市立学校・園の帰国・外国人幼児児童生徒に関する教育について教職員や保護者への相談活動や助言を行う。	15,428	教育委員会指導第二課
	高校生の国内・国外留学推進事業（新しい教育の推進）	(国外留学) 次代を担う高校生が人間としての在り方、生き方について自覚を深めるとともに、自立への歩みが始められることを期して、語学や文化の面において国際的視野を持った高校生を育成するため、市域の高校生を留学プログラムに参加させる。また、(国内留学) 自然科学、芸術・スポーツ分野などにおいて、新たな知識や技能を習得させるため、国内における体験活動について、情報収集及び提供を行なう。 派遣：(半額個人負担) 第三次派遣：アメリカ・スイス・スウェーデンから帰国 6月末帰国、第3年次7名 第四次派遣：カナダ・デンマークへ派遣予定 8月～6月(10ヶ月)、第2年次2名 第五次派遣：派遣生選考 募集・選考のみ、第1年次8名 第三次受入：オランダ・ドイツ・ハンガリー H21.1月帰国、第2年次3名 第四次受入：未定 H21.3月、第1年次5名	8,856	教育委員会指導第二課

市 町	事 業 名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広 島 市	国際スポーツ交流事業（派遣）	本市と大邱広域市の間でこれまで培われてきた友好関係を一層促進するとともに、両市のスポーツ振興を図るため、大邱広域市にスポーツ交流団(男女高校生バスケットボールチーム)を派遣し、スポーツ交歓会に参加する。 大邱広域市から事業中断の申入れがあり、8月末現在で未実施 派遣：平成20年8月10日～14日(4泊5日)、33人 (その他雑入：832千円)	831	市民局文化スポーツ部スポーツ振興課 (財)広島市スポーツ協会
	ブラジルハンドボールチーム北京五輪事前合宿の受入	北京五輪の事前合宿としてブラジルの男子ナショナルチームを受け入れ、市民との交流事業を実施する。	-	市民局文化スポーツ部スポーツ振興課 (財)広島市スポーツ協会
	シェイク ファハド 広島・アジア青少年スポーツ交流事業（受入）	アジア地域の青少年及び指導者を受入れ、スポーツを通じて交流を行い、お互いのスポーツ事情、文化などについて意見交換し、相互理解に資するとともに、アジア地域のスポーツ界の更なる発展に寄与する。(20人以内)	3,891	(財)広島市スポーツ協会
	スポーツ少年団国際・国内スポーツ交流事業	(財)日本体育協会 日本スポーツ少年団が主催する、第35回日独スポーツ少年同時交流に広島市スポーツ少年団団員を派遣し、相互理解と友好を深め、親善を図り、スポーツ少年団活動の活性化に寄与する。 (派遣：1名、平成20年7月20日～8月11日)	38	(財)広島市スポーツ協会
	平和宣言の普及	平和宣言の内容を国内外に周知することにより、核兵器廃絶に向けた国際世論を高める。 主な内容： 平和宣言文パネルの作成・掲示 平和宣言の動画作成・インターネット等での発信(広島市及び広島平和文化センターのホームページでの平和宣言読上げ動画メニューの設置、平和記念資料館での平和宣言読上げ映像の上映、外国語7か国語(英、伊、仏、独、中、韓、日)の作成) 平和宣言文の送付 (和文:26,000部、英文:15,000部、点字:200部) 平和宣言解説書の作成・配布(83,000部)	2,417	(財)広島平和文化センター (平和連帯推進課)
	国連軍縮フェローズの受入れ	国連軍縮フェローズ計画は、各国の外交官を対象に軍縮専門家を育成する目的で国連が主催する研修であり、この研修生(フェローズ)を広島に受け入れ、被爆の実相について理解を深めてもらうことにより、各国の核軍縮推進の一助とする。 場 所：平和記念公園、広島平和記念資料館等 内 容：学識者や被爆者による講話、原爆記録映画の上映、広島平和記念資料館、原爆ドームの視察等 受入予定人数：30人 (平成20年9月下旬～10月上旬(2泊3日))	697	(財)広島平和文化センター (平和連帯推進課)
	中国人民平和軍縮協会との交流	中国人民平和軍縮協会の関係者を広島市に迎え、学識者や被爆者による講話、意見交換等を行い、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を伝えるとともに、市民レベルの交流を図る。 (受入人数：6名、平成20年11月(4泊5日))	1,259	(財)広島平和文化センター (平和連帯推進課)
	青少年国際交流・協力スタディーツアーの派遣	広島市内に在住又は通勤・通学している青少年をバングラデシュへ派遣し、現地で活躍している青年海外協力隊員や市民団体の活動視察などを通じて、青少年が国際協力の実情を学ぶとともに、現地の人々と交流することにより、次代の国際交流・協力の担い手を養成する。 (8月2日～8月10日(7泊9日))	5,237	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	国際交流・協力事業への助成	広島市内の団体が行う国際交流・協力事業に対し補助金を交付することにより、広島市民の国際交流・協力事業への参画意欲を高め、市民団体の育成と多様な国際交流・協力事業の推進を図り、広島市の国際化に寄与する。(年2回) *区分：「国際交流・協力活動振興補助金」 「国際交流・協力活動育成補助金」	1,781	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	国際交流ネットワークひろしまの運営	広島市内の国際交流・協力活動団体等で組織する「国際交流ネットワークひろしま」加入団体間の連携を深め、加入団体が活動しやすい環境づくりに努めるとともに、市民レベルの国際交流活動を促進するため、語学ボランティア、ホームステイ等のボランティア登録を受け付け、非営利機関等からの依頼によりあっせんを行う。	1,510	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広島市	国際交流・協力の日の開催	国際交流・協力活動団体を中心に在住外国人を含む広島市民が、「学び」を基調とした様々な国際交流・協力事業を行うことによって、団体間の情報の共有化及び連携の強化を図るとともに、参加市民が国際交流・協力活動への関心を高め、次代を担う青少年をはじめ、あらゆる世代の人々が地球市民としての共生意識を醸成することにより、広島の国際化に資する。 * 内容：研修会、展示、バザー等の実施 (平成20年11月16日)	3,930	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	べあせろべの開催	昭和59年度から実施。在住外国人と市民が、各国の食文化や民族芸能等を通じて交流を行うため、国際交流フェスティバル「べあせろべ」を開催する。 (平成20年10月26日(予定)) * 共催：べあせろべ実行委員会(ボランティア団体)、 (財)広島国際文化財団 (事業費として、他に広島国際文化財団の700千円がある)	400	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	国際理解セミナーの開催	広島市在住の帰国青年海外協力隊員等によるセミナーを開催し、若年層を中心とした市民の国際交流・協力への関心や意識を醸成するとともに、青年海外協力隊やボランティア活動等に興味を持つ人々へのきっかけを提供する。(平成21年2月)	52	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	国際交流員による国際交流事業の実施	本財団に配置されている国際交流員を学校等広島市関係機関が実施する国際交流・国際理解事業に派遣し、講演等を行うとともに、国際交流員が市民の相談に応じる国際交流員の相談日を実施し、国際交流及び国際理解の推進に資する。	46	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	情報誌の発行	在住外国人のための英語による生活・文化情報誌を作成・配布し、広島での生活に役立ててもらおう。また、これらの情報をインターネットでも提供する。	106	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	インターネットでの情報発信・受信機能の充実	国際交流・協力活動情報、ネットワーク団体情報等のホームページの内容を随時更新し、インターネットを利用した情報発信、受信機能の充実を図る。	1,540	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	国際交流・協力推進に関する調査・研究	広島地域の国際交流・協力事業の連携・調整を図るため、関係機関等との連絡会議を開催するとともに、二国間団体の総会、講演会や地域国際化協会の研修会等に参加する。	452	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	ボランティア通訳者の研修・派遣事業	在住外国人の増加に伴い、行政機関窓口や学校などにおいて、相互の意思疎通が困難なケースが生じてきていることから、行政窓口をはじめとする公共機関等へのボランティア通訳の派遣を行うとともに、人材育成のための研修を実施し、通訳派遣の円滑化を図る。	510	(財)広島平和文化センター (国際交流・協力課)
	留学生等との交流・支援事業	留学生、就学生への自転車貸与。 広島市内に居住し、大学、短期大学、専修学校等に通学する留学生・就学生に120台を無償貸与。	384	(財)広島平和文化センター (留学生会館)
	広島市留学生会館管理運営	留学生の生活を支援するとともに、留学生相互の交流、留学生と市民との交流等、多様な国際交流及び国際協力の推進を目的に、居住施設と交流施設を併せもち、地域レベルでの国際交流等の事業や情報提供を行っている。 留学生会館の機能を活用するため次の各事業を行う。 ア 留学生会館まつり(10月12日(予定)) イ 留学生による平和フォーラム(8月5日、6日(予定)) ウ 留学生と市民とのふれあいコンサート(6月21日、8月23日、2月(3回開催予定)) エ 留学生のためのインターンシップ支援 オ 留学生のための生活相談・支援事業 カ 留学生と地域とのふれあい事業 キ 国際交流団体への支援・ネットワークの構築	58,674	(財)広島平和文化センター (留学生会館)
ひろしま奨学金支給事業	私費による留学生で、広島市内の大学若しくは大学院に在籍する学部生、大学院生若しくは研究生でかつ広島市内に居住する学部生、大学院生若しくは研究生が、経済的な問題に影響されることなく学業に専念できるよう支援するため、ひろしま留学生基金によって毎年30人に月額3万円を支給し、支援している。	15,872	(財)広島平和文化センター (留学生会館)	

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
広島市	子どもたちの平和の絵コンクール	子どもたちの平和意識を高揚させるため、広島市内及び海外の姉妹・友好都市等の小・中学生から平和をテーマとした絵を募集し、コンクールと展示会を開催する。 展示会：平成20年12月中旬～1月下旬	1,454	(財)広島平和文化センター (平和記念資料館啓発担当)
	インターネットによる平和情報の発信	インターネット上にホームページ「ヒロシマ・ピース・サイト」「キッズ平和ステーション」及び「バーチャル・ミュージアム」を設置して、原爆・平和に関する情報を発信し、被爆の実相を伝えるとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を世界に訴え、国際世論を喚起していく。	3,048	(財)広島平和文化センター (平和記念資料館啓発担当)
	英語で伝えようヒロシマセミナー	海外で広島の実相を正しく伝えることができるようにするため、原爆被害の概要の基礎知識及び英語での表現方法について学び機会を提供する。 ・一般の部：年2回(平成20年5月,7月) ・高校生の部：年3回(平成20年5月～7月)	48	(財)広島平和文化センター (平和記念資料館啓発担当)
	全米における原爆展の開催	世界の核政策の動向を握る米国において、前年度から引き続き2か年にかけて、首都ワシントン及び全米50州の各州2都市の100都市、合計101都市において、市民を対象に、原爆写真ポスター展、被爆体験証言を実施し、原爆被害の実相に関する理解を深めてもらう。 (～平成20年12月末、派遣：12名)	17,457	(財)広島平和文化センター (平和記念資料館啓発担当)
	ニューヨーク誘致懇談会及び広島PRイベント	ニューヨークにおいて、世界的な国際会議等の誘致のための活動を及び広島PRイベントを実施することにより、本市の認知度を高め、国際会議の誘致及び米国からの誘客の促進を図る。(平成20年10月27日～29日)	未定	(財)広島観光コンベンションビューロー 都市活性化局観光交流部交流課
	ウェルカムサポート事業	中国及び韓国からの観光客受入態勢の整備を図るため、宿泊・飲食・交通等観光関連企業などの従事者に対して、中国語、ハングルの語学と接遇の講習会を実施する。春(中国語)、秋(ハングル)(各7回)	207	(財)広島観光コンベンションビューロー
	外国人観光客受入	市民の歓迎の意を表すため、来広した外国人観光客に対し、広島の観光記念品贈呈及びウェルカムメッセージカードを賛助会員の宿泊施設へ配布し外国人観光客の宿泊者に対し利用してもらう。	637	(財)広島観光コンベンションビューロー
	親善交流	第44回ホルル姉妹都市親善訪問 広島観光親善大使を親善使節とした訪問団を編成し、広島市と姉妹都市であるホルル市を訪問し、行政機関及びマスコミへの表敬や、現地県人会との交流を通じて両市の親善交流を深める。また、第15回ホルルフェスティバルへ参加し、広島の観光PRを行う。 (派遣：5人、平成21年3月(4泊6日))	1,788	(財)広島観光コンベンションビューロー
呉市	少年海外派遣事業	市内の中高校生を海外に派遣し、訪問国での交流を通じて国際的視野を広げることにより、国際化社会を担う人材の育成と地域社会の発展を図る。 (人員：20人(他に引率者：2名) 時期：8月 オーストラリア)	8,348	秘書広報課
	全国市町村国際文化研修所派遣研修事業	国際交流、国際理解などに必要な知識や外国語を学び、国際化対応能力の向上を図る。(人員5人) (多文化共生対応コース、国際交流基礎コース、消防職員コース)	437	人事課
	外国人講師英語指導事業	呉市立中学校及び呉高等学校のネイティブスピーカーを用いた英語教育の充実を図るとともに、小学校における国際理解教育を推進する。 (人員15人(JET9人、姉妹都市1人、民間5人))	83,532	教育委員会学校教育課
	日本語教室 呉 事業	在住外国人のために日本語学習の機会を提供する。 期間：4月～3月の毎週土曜日18時～、計48回 場所：広公民館	960	教育委員会文化振興課
	たのしいにほんご教室事業	在住外国人のために日本語学習の機会を提供する。 期間：4月～3月の毎週水曜日14時～、計48回 場所：広公民館	288	教育委員会文化振興課
	ブラジル籍児童生徒語学指導事業	市内の小中学校に語学指導員を派遣し、ブラジル籍の児童生徒に語学指導や日常生活上のアドバイスを行う。 年間延べ80回	720	教育委員会学校教育課
	日本語指導者ボランティア養成講座事業	日本語教室等で在住外国人に日本語を指導するボランティアを養成する。	126	教育委員会文化振興課
	ボランティアスタッフ研修会事業	日本語を指導するボランティアの研修会	42	教育委員会文化振興課

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
呉 市	「国際交流広場」管理運営事業	国際交流に関する情報をはじめ、日本人と外国人との幅広い情報を提供することにより、国際交流についての理解と関心を深めるとともに、在住外国人を対象とした生活相談を通じて生活上の利便を図る。 研修室 国際交流協会主催の定例教室の他、国際交流を目的とした集会及び研修等に貸出。 図書コーナー 実用図書、語学学習教材、絵本、観光ガイドブック、海外雑誌、国際交流情報誌、海外新聞等の整備。 ビデオ・DVDコーナー 全世界対応方式のビデオデッキ1台及びDVDプレーヤー3台の管理、ビデオ・DVDソフトの充実。 メッセージボード 国際交流イベントの紹介、市民間の交流情報を交換窓口の設置、相談員の配置。 在住外国人相談窓口 英語、ポルトガル語、韓国語、中国語、スペイン語による生活相談	13,300	秘書広報課
	呉市国際交流協会事業補助	姉妹都市との交流事業をはじめ、地域の国際化事業を積極的に推進するため、呉市国際交流協会を中心とした市民レベルでの事業展開を図る。	5,700	秘書広報課
		異文化交流事業 日本料理教室、外国料理教室、国際交流フェスタなどの交流事業の実施	445	呉市国際交流協会
		教室等開催事業 ハングル教室、中国語講座、ブラジル会話教室などの定例教室の実施	1,374	
		外国籍市民支援事業 漢字教室	184	
		ブレマトン市との交換学生事業 呉市の高校生3名をブレマトン市へ派遣 ブレマトン市の高校生3名を受入 ブレマトン市ボーイスカウト訪問団の受入	1,826	
		鎮海市との交流事業 呉市の高校生5名を鎮海市へ派遣 鎮海市訪問団の受入 鎮海市模範運転者研修団の受入 鎮海市バドミントン交流訪問団の受入	3,254	
		温州市との交流事業 温州市少年交流訪問団受入 温州市人民政府訪問団受入	1,434	
		各国からの訪問団の歓迎	250	
		広報・研究活動 呉市国際交流協会機関紙「トライアングル」の発行 在住外国人向け情報誌の発行 (英語版各600部・ポルトガル語版各700部、年6回)	304	
	日本語教室 旧安浦町より引継ぎ	在住の外国人を対象とした生活に密着した日本語教室。講師はボランティア、毎週1回開催。	-	教育委員会安浦公民館
竹 原 市	外国語指導助手業務委託事業	急速な国際化時代到来のなかで、国際社会に生きる青少年の育成をめざしかつ教職員の英語指導における資質向上並びに児童・生徒の英語力と国際理解の深化を目的とする。(人数:3名(外国語指導助手) 時期:通年)	14,175	学務課
三 原 市	少年少女海外研修・交流事業	市内の中学2年生をシンガポールに派遣し、国際化時代に対応する資質を育成する。事前研修を10回程度開催する。(人数:中学生14名,引率者3名 時期:8月6日~11日)	3,666	青少年女性課
		シンガポールからの訪日研修中学生を受け入れ、市内の中学生との交流の機会を提供する。(人数:中学生19名,引率者2名 時期:6月5日~8日)	970	
	国際交流団体補助事業	国際交流団体に対して補助する。	290	生涯学習課
	国際交流ボランティア養成講座	語学学習や視聴覚教材を通じて異文化を理解し、国際化時代に対応する知識と能力を習得する。 語学講座:英語・中国語・韓国語 (人数:200名 時期:年間)	280	生涯学習課
	国際理解教育推進事業	外国語指導助手(ALT)を9名配置して定期的に市内の幼稚園、小学校及び中学校を訪問し、児童・生徒の英語力の充実と国際理解の深化を図る。(人数:9名 時期:通年)	43,691	学校教育課

市 町	事 業 名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
尾 道 市	尾道市国際交流推進協議会支援事業	尾道市国際交流推進協議会への支援を行い、市民レベルでの国際交流を推進する。	1,750	秘書広報課
	外国青年招致事業	児童生徒が国際社会の中で生きていく資質や能力を高めるために、外国語指導助手(8名)を小・中学校に計画的に派遣し、英語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図る。	42,756	教育委員会教育指導課 因島瀬戸田地域対策課
	尾道市青少年海外派遣事業	青少年の海外派遣研修を促進し、国際理解を一層深めるため、研修に要する経費の一部を助成する。	60	尾道市国際交流推進協議会
	高校教育支援事業	因島高校を支援する会が実施する海外語学研修に係る費用のうち、一部を助成。(人数:上限9名 時期:8月頃)	750	教育委員会因島瀬戸田地域教育課
	瀬戸田町青少年海外交流事業	町内小学生を対象に公募し、タイ国力セサート大学付属学校の児童との交流を行う。双方の家庭で、2週間のホームステイを行う。 派遣:児童6名,教諭2名 7月下旬~8月上旬 受入:児童6名,教諭1名 10月上旬~10月中旬	2,481	瀬戸田支所地域対策課
福 山 市	在住外国人対策事業	・在住外国人生活アドバイザー業務:市内に居住する外国人に対し、ポルトガル語・スペイン語及び中国語で、日常生活上の相談に対応する。 【ポルトガル語・スペイン語】 ・時間:月曜日~金曜日 9:00~16:00 場所:生活相談課 ・時間:月曜日~金曜日 8:30~17:00 場所:松永支所市民課 【中国語】 時間:月・火・金曜日 8:30~17:30 場所:生活相談課 【英語】 一般職員が対応 ・ポルトガル語ニュースレター発行 毎月1回発行 500部(A4判6ページ)	8,065	生活相談課
	中国帰国者自立支援指導事業	福山市に居住する中国帰国者等に対し、日常生活における助言、指導等を行う。 (人数:自立指導員7名 時期:通年)	25,650	福祉総務課
	善意通訳・ホームビジット運営事業	福山市を訪れる外国人観光客の言葉の障壁を解消する。 登録人数:38名	150	観光課 (委託先:(社)福山市観光協会)
	防火研修会	通報、初期消火、避難方法、火災予防の留意事項等の研修及び救急講習を実施している。	-	南消防署
	英語教育推進事業	英語指導助手(ALT)を配置し、小・中・高等学校の英語教育の改善・充実を図るとともに、国際理解教育を推進する。(人数:英語指導助手17名 時期:通年)	109,923	教育委員会指導課
	外国籍児童支援事業	保護者懇談会 ケース会、個別対応の必要なケース(発達・疾病など)について、通訳者を依頼して取り組む保護者の状況に応じて開催(ポルトガル語・中国語)	93	保育課
	親善友好都市等交流推進事業	親善友好都市との交流事業 ・訪問団受入 ・訪問団派遣 ・物産展負担金 ・調印式、レセプション等 ・親善友好都市からの職員研修生受入	3,208 3,432	秘書広報課 生活相談課
	国際交流(教育交流)推進事業	2007年(平成19年)10月12日北京市教育委員会と教育委員会同士で、交流の覚書を締結 ・北京市教育訪問団の派遣 2008年12月24日~28日 ・北京市からの訪問団受入 ・文化芸術交流による美術展開催	8,000	教育委員会指導課
府 中 市	外国語指導助手招致事業	外国から外国語指導教員の招致をして、教育内容の充実を図る。(人数:3名 時期:通年)	15,264	教育委員会学校教育課
	広島県日中親善協会負担金事業	広島県と四川省の友好提携を契機として中国との相互理解と民間交流の促進を図る。	30	企画財政課
三 次 市	三次市日中友好交流事業	三次市日中友好協会主催による、市内小中学生の派遣事業 (派遣人数:29名程度 訪問時期:平成20年5月30日~6月3日) 四川大地震により派遣中止	900	市長公室 (財)三次国際交流協会
	三次インド交流事業	三次インド交流協会主催による、ハイデラバード市からの中学生の受入事業 (受入人数:13名 受入期間:平成20年7月24日~29日)	480	市長公室 (財)三次国際交流協会

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
三 次 市	バングラデシュ教育交流事業	バングラデシュ国政不安定のため派遣を休止	-	市長公室 ((財)三次国際交流協会)
	こうぬジミー・カーターシビックセンター国際交流事業	こうぬジミー・カーターシビックセンター国際交流協会主催による、訪問団の受入事業および市内中学生の派遣事業。 (受入人数:7名 受入期間:平成20年4月16日~20日) (派遣人数:34名 訪問時期:平成20年8月20日~26日)	5,060	市長公室 ((財)三次国際交流協会)
	日加教育国際交流事業	日加教育国際交流協会主催による市内中学生とカナダ・メイブルリッジ市の中・高校生による相互派遣受入事業 (派遣人数:10名程度 訪問期間:平成20年10月23日~11月1日) (受入人数:未定 訪問期間:平成21年3月12日~20日)	1,022	市長公室 ((財)三次国際交流協会)
	在住外国人のための生活相談事業	市内及び近隣に在住する外国人を対象に、生活相談を実施。(時期:通年)	120	市長公室 ひとつくり推進課 ((財)三次国際交流協会)
	国際交流・協力ボランティア募集事業	通訳, 翻訳, ホームステイ等のボランティアを募集。	-	市長公室 ((財)三次国際交流協会)
	第33回三次きんさい祭国際村事業(同実行委員会主催)	三次市, 近隣に在住の外国人の方々の参加による自国のPRや物販, ステージで音楽舞踏など各種イベントの開催 (平成20年7月26日)	-	市長公室 ((財)三次国際交流協会)
	スピーチ交流会	三次市内在住の外国人及び市内中高生を対象とした外国人は日本語で学生は英語で発表するスピーチ交流会を実施。(実施日:平成20年11月29日)	-	市長公室 ((財)三次国際交流協会)
庄 原 市	国際友好都市との相互交流事業	中国四川省綿陽市との相互交流		
		・綿陽市公式訪問団の受入	3,484	企画課
		・庄原市青少年訪問団の派遣	3,420	教育委員会
		・庄原市市民友好訪問団の派遣	634	庄原市日中親善協会
		上記交流は四川大地震により今年度は中止		
	・地震に伴う義援金募集活動	7,704	企画課, 市民生活課(庄原市日中親善協会)	
	しょうばら国際交流協会事業	・外国籍市民相談窓口設置 日本語教室の運営, 悩み事相談, 情報提供等の生活支援	2,176	市民生活課(しょうばら国際交流協会)
		・青少年海外研修 市内中, 高生を対象に助成 (15名程度 平成20年7月下旬~)	680	
		・日本語スピーチコンテスト 出場者:18名 平成20年8月31日	130	
		・広島大学留学生ホームステイ 募集:各15名 平成20年11月14日~16日, 11月28日~30日	119	
・日本語教室 毎週木・金曜日 隔週火曜日		87		
大 竹 市	大竹国際交流協会運営補助事業	大竹国際交流協会が行う国際交流事業の運営に対して補助する。	250	企画財政課
	英語指導助手招致事業	市内中学校で英語科教師の補助をする外国人助手を招致する。また, 市内小学校においても国際理解教育の一環として派遣している。	4,800	教育委員会総務学事課
東 広 島 市	友好都市との交流	姉妹都市(中国四川省徳陽市)からの定期訪問団受入親善都市(ブラジルのマリア市)への訪問団派遣等	8,735	企画課
	友好都市との教育交流	姉妹都市(中国四川省徳陽市)への小中学生の派遣を通して交流を図る。	-	教育委員会教育総務課
	JICA中国国際センターの研修コースの実施	独立行政法人国際協力機構の研修を実施する。 ・生活排水処理コース ・地方行政コース	184	企画課
	外国人生活オリエンテーション事業	入国・転入する外国人市民に対して, 本市で生活する上で必要な情報や行政サービス情報等についてのオリエンテーションを行うことにより, 安心して生活できる環境を整える。	2,112	企画課

市 町	事業名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課	
東 広 島 市	コミュニケーションコーナーの運営	東広島市民文化センター(サンスクエア東広島内)1階にあるコミュニケーションコーナーにおいて、在住外国人への情報提供及び生活相談窓口設置 英語対応:毎週火～日曜日9:00～17:00 (土曜日13:00～17:00を除く) ポルトガル語対応:毎週土曜日13:00～17:00	6,606	企画課	
	広島大学留学生等の派遣	広島大学の留学生等を市内の小中学校に派遣し、母国の文化等の紹介を通じて、児童・生徒との交流を図るとともに、国際意識の高揚を図る。	300	教育委員会指導課	
	外国青年招致事業	市内小中学校へ外国語指導助手(A L T)を派遣し、小学校における英語活動や国際理解教育の推進と中学校における実践的な英語指導を展開する。	44,050	教育委員会指導課	
	東広島市国際化推進協議会事業補助	東広島市国際化推進協議会の運営を補助する。		4,686	企画課
		国際交流ボランティア研修会 国際交流ボランティアを対象とした研修会を開催		25	東広島市国際化国際化推進協議会 *は(財)東広島市教育文化振興事業団に委託
		多文化共生イベント 日本人と外国人市民が多文化共生の地域づくりを進めていくために、地域住民への意識啓発イベントを開催する。		25	
		国際交流活動の紹介 市の国際交流・国際協力活動について市民に広報する。		60	
		意見交換会の開催 東広島市国際化推進協議会会員等の各種活動団体や国際交流ボランティアが活動紹介・情報交換を行うための場を設置し、相互の連携を促進する。		20	
		私費留学生奨学金支給 東広島市在住の私費留学生を対象に奨学金を支給する。(月額3万円を3名に)		1,080	
		徳陽市紹介事業補助事業 東広島市日中親善協会が、酒まつりにおいて市の友好都市である徳陽市を紹介するコーナーを設置、運営する事業に対する補助を行う。		90	
		国際交流ボランティア事業* ホームステイ、通訳等のボランティア登録者の募集と紹介		88	
		日本語教室の開催* 市内在住の外国人対象 毎週水曜日10:00～12:00 2クラス(初級, 中級) 毎週木曜日19:30～21:30 2クラス(初級,) 毎週日曜日10:00～12:00 2クラス(初級,)		1,885	
ワンペア日本語レッスン* 年度途中で来日した外国人や、日本語教室に参加できない外国人を対象に、ボランティアと1対1のペアでの日本語習得。			0		
多言語広報サービス* 市の広報紙の一部を英語、ポルトガル語、中国語に翻訳し、市内施設で配付する。		662			
国際交流事業* 外国人日本語スピーチコンテストや日本文化講座の開催、盆踊り大会への参加等により、国際交流を推進する。		223			
廿 日 市 市	廿日市市国際交流協会支援事業	廿日市市国際交流協会を支援し、市民レベルでの国際交流を推進する。	3,500	地域協働課	
	姉妹都市交流・協力事業	姉妹都市マスタートンからの高校生受け入れ等	35	地域協働課 (廿日市市国際交流協会)	
	外国青年招致事業	国際交流員の招致(人数:1名)	5,897	地域協働課	
	国際理解教育事業	市内幼稚園、小・中学校に英語指導助手(ALT)を配置し、子どもたちの国際感覚の高揚及びコミュニケーション能力の育成に努める。	58,065	教育総務課	
	コミュニケーション支援・生活支援事業	日本語教室の開催 日本語指導者養成講座の実施 生活情報の多言語化	230	地域協働課 (廿日市市国際交流協会)	

市 町	事 業 名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
廿 日 市 市	多文化共生の地域づくり事業	在住外国人とボランティア、地域住民との市民同士の交流の場や機会を提供する	20	地域協働課 (廿日市市国際交流協会)
安 芸 高 田 市	ニュージーランド・シンガポール訪問団受入事業	姉妹都市や姉妹校との友好親善、国際理解教育推進のため、関係の訪問団を受け入れ、ホームステイ等により交流を深める。 青少年ニュージーランド訪問団受入事業 (受入時期：隔年、H19は受け入れなし) 青少年シンガポール訪問団受入事業 (受入時期：12月) ニュージーランド・セルウィン町民受入事業 (受入時期：3月)	1,046	生涯学習課
	平和メッセージ交換	世界の恒久平和を願い、原爆記念日に、姉妹都市セルウィン町の首長と平和のメッセージの交換を行う。 (時期：8月6日)	2	生涯学習課
	外国青年招致事業	英語指導助手(ALT)を招致し、中学校における語学指導を行い、生徒の語学力の向上を図る。 また、保育園、幼稚園、小学校に派遣し、幼児・児童が外国人に触れ合う機会を提供し、国際感覚の向上を図る。(時期：通年)	22,600	教育総務課
	英会話教室	英語指導助手(ALT)による市民を対象とした英会話教室を実施し、市民の国際交流への理解と英会話能力の向上を図る。(時期：通年)	20	教育分室 (吉田、八千代、高宮、美土里、向原)
	ニュージーランド連絡事務所開設事業	姉妹都市セルウィン町との交流を推進するため、連絡調整を目的とした連絡事務所をセルウィン町内に開設。 (時期：通年)	600	生涯学習課
	青少年海外派遣事業	姉妹校との友好親善、青少年の国際理解教育推進のため、関係の国に市内の中学生を派遣し、ホームステイ等により交流を深める。 青少年ニュージーランド派遣事業(派遣時期：8月) 青少年シンガポール派遣事業(派遣時期：8月)	3,223	生涯学習課
	市民セルウィン町派遣事業	市民を対象とし、姉妹都市セルウィン町に派遣する。国際化に対応できる地域のニューリーダーの育成と友好親善を図る。(派遣時期：11月)	797	生涯学習課
	国際交流協会活動助成	国際交流推進を目的に結成された、安芸高田市国際交流協会への活動助成。	50	生涯学習課
江 田 島 市	外国青年招致事業	急速な国際化時代到来のなかで、国際社会に生きる青少年の育成をめざし、かつ教職員の英語指導における資質向上並びに生徒の英語力と国際理解の深化を目的とする。(人数：2名(外国語指導助手) 時期：通年)		教育委員会
府 中 町	府中町国際交流協会補助事業	府中町国際交流協会に対して補助金を交付する。	900	地域振興課
海 田 町	国際交流協会補助金事業	国際交流協会の事業に対し補助を行う。 (主な事業：会報の発行、海外視察研修の実施、国際親善サッカー大会など)	2,000	企画課
	英語指導補助業務委託	町内小中学校へ英語指導助手を派遣し、生徒の英語力の向上を図る。	4,347	教育委員会学校教育課
	外国籍児童 言葉の学習指導	町内小中学校への語学指導員を派遣し、日本語の理解が不十分で、学習困難な状態にある児童生徒に対し、日本語指導を行う。	840	教育委員会学校教育課
熊 野 町	英語指導助手派遣業務委託	町内小中学校へ英語指導助手を派遣し、英語教育の充実と異文化理解の促進を図る。	16,485	教育委員会学校教育課
坂 町	南加坂郷友会広報郵送事業	アメリカ・カルフォルニア州の坂町出身者で結成されている南加坂郷友会との交流事業の一つとして、町広報を毎月30部郵送し、郷里の情報提供を行っている。 (アメリカ・カリフォルニア州 時期：通年)	40	企画財政課
	坂町海外研修青少年対象事業	町内の中学生を対象とした坂町海外研修団をアメリカ合衆国・ハワイへ派遣し、広く世界に目を向け、海外の多様で異なる文化・生活・習慣などに直接触れることにより、国際的な感覚で物事を考える豊かな心を育み、国際化に対応できる人材の育成を目指す。 (人数：16名 時期：7月31日～8月4日)	5,000	生涯学習課
	外国青年招致事業	英語指導助手を招致し、小学校における英語教育の充実をはかるとともに国際的な知識や理解を求める	1,600	学校教育課

市 町	事 業 名	内 容	予算額 (千円)	主 管 課
安芸太田町	英語活動	町内在住の外国人の協力により、町内保育所、幼稚園、小学校で英語に親しみながら国際理解を深める。	321	教育委員会生涯学習課
	外国青年招致事業	外国語指導助手(ALT)を招致し、中学校における語学指導、小学校訪問を通じて、児童生徒の国際理解の向上を図る。 (人数：1名 時期：通年) 町広報誌への「国際交流だより」掲載	3,840	教育委員会学校教育課
大崎上島町	外国青年招致事業	英語指導助手の招致。中学校では、英語教師とともに語学指導を行う。小学校では、英語に親しみながら国際理解を深める。(人数：2名 時期：通年)	9,862	教育委員会
世羅町	外国青年招致事業	外国語指導助手(ALT)を招致し、中学校における語学指導、小学校訪問を通じて、児童生徒の国際理解の向上を図る。(人数：2名 時期：通年)	9,318	学校教育グループ
	英会話教室	外国語指導助手の協力を得て、町民に日常英会話の学習機会を提供し、英会話の語学力を身に付けるとともに、国際交流を深める。 (定員：45名 H20.5月からH21.3月 毎週火曜日)	17	生涯学習グループ
	世羅高原6次産業ネットワーク事業(外国人の受入体制の整備)	大韓民国農業研修生がファームスティシ、日本の農業を学ぶ研修事業を開催。	0	産業観光課
神石高原町	外国青年招致事業	英語指導助手を招致し、小中学校における英語教育の充実を図るとともに、保育所訪問等を通じて、国際的な知識や理解を深める。(人数：2名 時期：通年)	9,130	教育委員会

(広島県総務局秘書広報部国際課調べ)